

牧志駅前ほしぞら公民館



利用施設のご案内

牧志駅前ほしぞら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部 屋 名	収容人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	120人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	30人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実 習 室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台 (4台)、料理用器具等)
パソコン室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工 作 室	15人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和 室	15人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしぞら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

昭和54年 4月 4日	公民館の施設提供が開始された。
5月8日	プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年 4月23日	久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成 2年 4月19日	久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成 9年10月30日	第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年 4月30日	施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

牧志駅前ほしぞら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、プラネタリウムのある公民館として、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしぞら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日	牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年 3月	旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年3月4日	第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成28年4月1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年4月1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
令和 2年4月1日	館長 田端研二退職により、館長 末吉雪乃が発令された。

Ⅱ 令和元年度牧志駅前ほしぞら公民館事業目次

1	学習風景（写真）	163
2	成人一般対象事業	
	〔1〕市民講座	
	◇能と組踊の出会い	164
	◇初心者のための天体写真講座	165
	〔2〕成人講座	
	◇星のソムリエ®ほしぞら案内人になろう！	166
3	高齢者対象事業	
	〔1〕高齢者学級	
	◇スマホ体験講座（アンドロイド）	167
4	青少年対象事業	
	〔1〕少年教室	
	◇ロボット（プログラミング）体験教室	168
	◇カリ－綱で作る令和最初のしめ縄作り！	169
	◇パステルアート教室	170
	〔2〕青年講座	
	◇令和版 IT活用で働く考え方	171
	〔3〕親子ふれあい教室	
	◇親子星空教室	172
5	家庭教育事業	
	〔1〕家庭教育学級	
	◇宇宙の学校	173
	〔2〕乳幼児学級	
	◇にゅうじランド	174
6	その他の事業	
	〔1〕プラネタリウム事業	175
	◇星空観望会	176
	◇星と音楽のコラボ（夏）コンポステーラ 星降る野原ギターの調べ	177
	◇七夕無料投影	178
	◇星と音楽のコラボ（冬）「天空からの贈り物」	179
	◇日本の星の名前・歌・物語～北海道から沖縄まで～	180
	◇ブラック星博士沖縄遠征 プラネタリウムお礼スペシャル 皆既日食の話もあるよ	181
7	公民館まつり（写真・チラシ）	182
	◇プラネタリウム無料投影	184

1 学習風景



市民講座
「能と組踊の出会い」



少年教室
「ロボット（プログラミング）体験教室」



家庭教育学級
「宇宙の学校」



乳幼児学級
「にゅうじランド」



親子ふれあい教室
「親子星空教室」



青年講座
「令和版 IT 活用で働く考え方」

2 成人一般対象事業

[1] 市民講座

能と組踊の出会い

趣 旨：日本の伝統芸能の代表である『能』と、初演から300年を迎える沖縄の伝統芸能『組踊』のコラボを企画。『能と組踊』の入門編として両芸能の歴史とつながりを解説し、謡・唱えの体験を交えての講座で、市民に周知・理解を深めてもらう。
坂井・神谷両講師と崎山協会長の対談により両伝統芸能の現在と未来に向けての抱負を発信する。

期 日：令和元年11月12日（火）
時 間：18:00～20:00
場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール
対 象：那覇市在住・在勤・在学者
受 講 料：無料
定 員：80人
申込人数：130人
参加延べ人数：124人
講 師 名：坂井 音雅（能楽師）
神谷 武史（組踊実演家）
崎山 律子（那覇市芸能協会会長）



【学習プログラム】

- ・日本の伝統芸能である『能』の謡と発声のしかた
- ・能面・すり足の解説と坂井講師による実演
- ・組踊の歴史背景と冊封使をもてなす7つの宴・組踊5番の解説
- ・初演から300年の『組踊』の解説、神谷講師の唱えと所作の実演
- ・坂井・神谷両講師と崎山協会長の対談による未来に向けての抱負

【受講生の声】

- ・体験がたくさん出来てよかった。
- ・時間が短かった（もっと詳しく聞きたかった）
- ・能と組踊講座 とてもわかりやすく楽しい講座でした。
- ・知っているようで知らなかった能と組踊を知れて良かった。
- ・講師・MCが優秀でもっと学びたい（時間が足りなかった）
- ・素晴らしい講座（両講師の実演が大変良かった）で貴重な体験が出来た。



【まとめ】

- ・当初『能』の体験等を織り込んだ講座の企画を進める中『組踊初演から300年』を知り、市民への周知・理解を深めてほしく『能と組踊の出会い』のタイトルでコラボを実施することとなった。
- ・定員80人で受付を開始したが予想以上の問い合わせに、120人までに増やし、最終124名の受講者となった。
- ・多くの方々が伝統芸能へ興味を持ち触れる機会を求めていることを知り、もっと学ぶ機会を作るべきだと感じた。

初心者のための天体写真講座

趣 旨：デジタルカメラの性能向上により天体写真のハードルが下がり、以前よりも簡単に天体写真が撮影できるようになった。この講座では、天体撮影の基本的な技術を習得し、デジタル一眼レフやミラーレス一眼等を使って、初歩的な天体写真が撮れるようになることを目指す。

期 間：令和元年7月3日（水）～17日（水）全3回

時 間：19:00～21:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：那覇市在住、在勤、在学の方（高校生以上）

受 講 料：無料（ただし使用する機材は各自で持参すること）

準備するもの：星が撮れるデジタルカメラ（デジタル一眼レフやミラーレス一眼など）

三脚（貸し出し用あり）

リモコン（持っている人だけ）

定 員：15人

申込人数：16人（うち受講決定人数 人）

参加延べ人数：40人

講 師：田端 研二

（牧志駅前ほしぞら公民館長）



《学習プログラム》

回数	期 日	学 習 内 容	参加人数
1	7月 3日（水）	撮影の注意点・天体写真の種類・機材の使い方など 実技：固定撮影	16人
2	7月10日（水）	実技：いろいろな撮り方 Windows 付属ソフトで簡単画像処理	12人
3	7月17日（水）	実技：拡大撮影・望遠鏡にカメラを付けて月を撮る 撮影計画の立て方、天文情報の集め方など	12人

（参加者の声）

- ・ カメラの説明書を読む機会がなかったので良い機会になりました。いろんな機能を持っていることを知りました。
- ・ 少し自分のカメラについて勉強不足だったので、次回までに準備しておきます。
- ・ いろんな望遠鏡があったのでいろんな設定が見れて良かった。他の設定が焦点距離や口径でだいぶ変わるのが面白いです。資料が具体的で分かりやすいです。露出の表、目のピント合わせ。
- ・ 自分で月をファインダー内に入れるのが大変でしたが、その後は写りの差を楽しんで出来たのが嬉しかったです。
- ・ 続編で実習もあると良いなと思いました。
- ・ カメラの機能をいじることにもめったになかったのでいい機会を与えて下さり感謝します。
- ・ 中級、上級の講座もやってほしい。

（まとめ）

- ・ 初心者を想定して開講したものの、受講生のレベルに差がありすぎて、内容を絞り切れなかったのは反省点である。次回開催するならば、撮影編と画像処理編に分けた方が受講生の満足度も高まると思う。

[2] 成人講座

星のソムリエ®ほしぞら案内人になろう！

趣 旨：星空と宇宙の基礎知識、望遠鏡の原理や使い方、星空案内を行う際の楽しみ方や注意点を学び、実際に地域などで活躍する星空案内人としての人材を育てる。

期 間：令和元年6月21日（金）～11月29日（金）（全8回）

時 間：19:00～21:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館（ホール）

対 象：ほしぞらに興味のある16歳以上の方

受講料：無料

定 員：30人

申込人数：24人

参加延べ人数：137人

講 師：垣花 正男（元プラネタリウム操作技師）
 瀬名波 任（琉球大学非常勤講師）
 米原 英樹（宇宙少年団名護分団リーダー）
 田端 研二（那覇市牧志駅前ほしぞら公民館長）



《学習プログラム》

回	期 日	学 習 内 容	講 師	人数
1	6月21日（金）	さあ、はじめよう	田端研二（牧志駅前ほしぞら公民館長）	21人
2	7月19日（金）	宇宙はどんな世界	瀬名波任（琉球大学非常勤講師）	19人
3	9月20日（金）	望遠鏡の仕組み	米原英樹（宇宙少年団名護分団リーダー）	16人
4	9月27日（金）	望遠鏡を使ってみよう	米原英樹（宇宙少年団名護分団リーダー）	17人
5	10月18日（金）	星座を見つけよう	垣花正男（元プラネタリウム操作技師）	16人
6	10月25日（金）	星の文化に親しむ	田端研二（牧志駅前ほしぞら公民館長）	15人
7	11月15日（金）	星空案内人の実際	田端研二（牧志駅前ほしぞら公民館長）	16人
8	11月29日（金）	認定式及び閉講式	田端研二（牧志駅前ほしぞら公民館長）	17人

（参加者の声）

- ☆ 今まで全く望遠鏡の知識が無く聞いていてとても楽しかったです。望遠鏡にとっても興味がわきました。星の事も含めこれからもっと詳しく知っていきたいです。
- ☆ 地方によって星座名や形が細かく違うことに興味が湧きました。星と人々の暮らしが非常に関係が深いことを文化を通して知る事が出来ました。
- ☆ 星の形、位置などの調べ方について今まできちんと学んでこなかったので新鮮で楽しかったです。

（まとめ）

- ☆ 半年間の長い講座ですが受講生の意識も高く、望遠鏡の組み立てでは「とても興味深く楽しかった」という声が多かったです。
アンケートから殆どの受講生が宇宙の事を学び自分の知識等の向上に役立てたいとありました。
また、全員が案内人の取得を希望されていてとても嬉しかったです。次回は音響、照明等の使い方を改良したいと思います。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

スマホ体験講座（アンドロイド）

趣 旨： 初心者、未経験者を対象にスマホの便利さや魅力を体験してもらい、これからの地域、社会活動の幅を広げる一つのツールとし活用してもらう。

期 間： 令和元年8月28～30日（全3回）

時 間： 13：30～16：00

場 所： 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館（第1学習室）

対 象： 那覇市在住、在勤の60歳以上の方

受 講 料： 無料

定 員： 16人（先着順）

参加延べ人数： 47人

講 師： 房前 三男（那覇市シルバー人材センター会員）

補 助： 渡慶次・平田・川満・徳川

（那覇市シルバー人材センター会員）



《学習プログラム》

回数	期 日	学 習 内 容	参加人数
1	8月28日（水）	電源ON&OFF・動画「YouTube」・「LINE」でテレビ電話、「カメラ」「ビデオ」で撮影と保存、送信	16人
2	8月29日（木）	スマホの基本操作・生活に役立つ情報を「インターネットで検索」、「アプリってなに」	16人
3	8月30日（金）	「LINE」トーク・「SMS」の使い方、地図「ナビ」の活用、「電話」のかけ方、電話帳への登録	15人

（参加者の声）

- ・3日間では覚えきれないので、何度かやって欲しい。
- ・スマホの企画もとても素晴らしいと思います。最近購入して十分に使いこなせきれなく困っていました。今回受講でき感謝です。
- ・使い方に不安があったが、講座のおかげで何とか使えそうな気がします。
- ・教えてほしい事がほとんど講座にあり、大変良かったと思います。
- ・これからは、楽しくスマホが使えそうです。
- ・わかりやすかったけれど、少々テンポが速く感じました。

（まとめ）

- ・希望者が多く、受付30分で定員に達しました。テキストも用意して頂き、助手も3～4人付き、個別の質問にも対応してくれました。スマホの魅力を伝えたい講師の想いもあり、盛りだくさんの内容で、付いていくのがやっとの受講生もいました。講座終了後も、講師陣がフォローするという事で、希望者は連絡先、場所の確認をしました。



4 青少年対象事業

[1] 少年教室

ロボット（プログラミング）体験教室

趣 旨：ロボットが作動する基本的な構造を学び、プログラミングを体験する。
青少年の科学への興味・体験を促進し、夏休みの自由研究につなげる。

期 日：令和元年7月27日（土）

時 間：10:00～12:00

13:30～15:30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 第1学習室

対 象：那覇市在住・在学の小学生

受 講 料：無料（但し、保険料として50円自己負担あり）

定 員：各10人

申込人数：22人

参加延べ人数：20人

講 師：ロボロボの会 今井俊二 他2名



《学習プログラム》

回	時間	内容	人数
1	10:00～12:00	① ロボットの基本操作方法 ② プログラムソフトの使い方 ③ ロボットの動きのプログラムと調整	10人
2	13:30～15:30	④ ゲーム用のプログラミング ⑤ プログラミングしたロボットの調整 ⑥ プログラミングしたロボットでのゲーム体験	10人

（参加者の声）

- ・先生や助手のサポートで、わかりやすくてよかったです。
- ・自分で考えてプログラミングしたので楽しかったです。
- ・ゲームが楽しかった。もっとやりたい。
- ・大変楽しく勉強になりました。



（まとめ）

- ・当館の開館時からサークル活動しているロボロボの会に講師を依頼し、パソコン・機材・テキスト等を提供いただき、修了証発行までサポートしてもらった。
- ・参加した20人中8人が低学年で、内容的に厳しく感じたため、次回は高学年に限定したい。
- ・プログラミングしたロボットで5組総当たりのゲームが受講者には好評で、2講座とも30分も超過してしまった。
- ・サークルと公民館との良い関係が講座中も感じられる楽しい時間でした。

カーリー綱で作る令和最初のしめ縄作り！

趣 旨：那覇市内の小学生と保護者を対象に昔ながらの沖縄独特のしめ縄作りを体験することによって正月飾りや、しめ縄の意味を知ってもらい、親から子へと引き継がれることを目指す。

期 日：令和元年12月1日（日）

時 間：13:30～15:30

場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館（ホール）

対 象：那覇市在住・在学の小学生と保護者

受 講 料：無料（但し、保険料、材料費500円自己負担あり）

定 員：15組

申 込 人 数：28人

参加延べ人数：30人

講 師：那覇市社会教育指導員OB会



《学習プログラム》

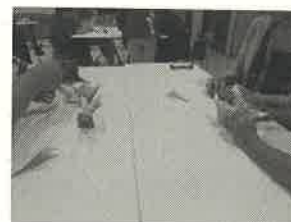
期 日	学 習 内 容	参加人数
12月1日（日） 13:30～15:30	① 折り紙で祝い鶴を折る練習。次に本番用の赤、銀の折り紙で祝い鶴を仕上げる。 ② ギネス認定那覇大綱引終了後のカーリー綱を色紙に貼り付ける。 ③ しめ縄に、祝い鶴や、葉物（月桂樹、南天、松）小物等を飾る。	30人

（参加者の声）

- ・ 実用性のある講座でとてもありがたいです。
- ・ いろいろできて楽しかったです。
- ・ 先生が優しく教えてくれたのでとても簡単に作れました。
- ・ 綱からしめて作るしめ縄作りにもチャレンジしてもう1回作りたい。

（まとめ）

- ・ 講師の説明がとても丁寧で分かりやすく、またスタッフも各テーブルに着き質問にも早く答えられたのが良かったと思います。
- ・ 2時間の講座で時間が余るのではと思いましたが、意外と折り紙で作る祝い鶴に時間がかかりました。オリジナリティに溢れた出来栄に皆さん感動していました。開催時期をお正月前に実施したため実用性があった大変好評でした。



パステルアート教室

趣 旨：絵が苦手な子どもでも、絵って楽しいんだと感じてもらい、その体験を通して、視野の広がり、自己肯定感を高める一助となる。

期 日：令和元年11月16日（土）

時 間：13:00～16:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館第1学習室

対 象：那覇市内の小学校4年生～6年生

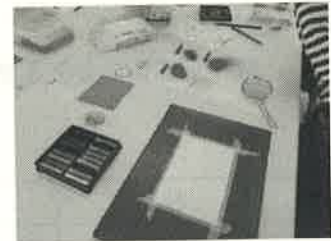
受 講 料：無料（但し、材料費500円自己負担あり）

定 員：20人

申込人数：19人

参加人数：19人

講 師：江谷紋子（美術教師・アートセラピスト） 助手：又吉一仁



《学習プログラム》

時 間	内 容
13:00～16:00	① 開講式：館長挨拶・講師挨拶 ② 絵についてのお話とパステルアートの描き方、実演 ③ 実技1：好きな色で描いてみよう ④ 実技2：年賀状 or クリスマスカードを描こう ⑤ 鑑賞会

☆参加者の声（子ども）

- ・あまり指で絵を描くことが無いので、指で描けたから楽しかった。
- ・絵が苦手だけど、やってみたら結構うまく出来たので、家でもまたやりたい。
- ・私は絵が苦手だけど、この「パステルアート」をやって少し上手になったと思う。
- ・自分でパステルアートが出来て良かったです。家でもやりたい。
- ・楽しかったし、いい経験になった。またやりたいです。
- ・おもしろい道具を使って描くのが面白かった。
- ・またやってほしい、ずっと続けてほしい。
- ・楽しくて、可愛くて素敵な色合いでした。



☆参加者の声（保護者）

- ・子どもだけでなく、親子で参加出来て良かった。3時間という設定も焦ることなくゆったりと作成することが出来、良かったです。「絵を描く方法に間違いはない」という言葉は、子どもだけでなく、大人にとっても心に響く言葉でした。参加することが出来、本当に良かったです。ありがとうございました。

☆まとめ

- ・3時間、1人もリタイアすることなく、楽しんで取り組んでいた。出来上がった作品の鑑賞会も盛り上がった。それぞれが自分の作品を気に入っている様子があり、思い込みの開放や、自信につながっていると思われる。

[2] 青年講座

令和版 IT活用で働く考え方

趣 旨：ITによってこれまでになかった働き方が登場し、求められる人材像も変化している現在、テクノロジーの進化による生活・仕事の変化を解説し、令和時代に求められる日々の暮らし方を提案する。

期 日：令和元年11月20日（水）

時 間：19:00～21:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 第1学習室

対 象：那覇市在住・在学・在勤の青年

受 講 料：無 料

定 員：20人

申込人数：15人

参加人数：13人

講 師：大森 洋介（一般財団法人ツクル 代表理事）



【学習プログラム】

- ・ITによって今までなかった働き方。（ユーチューバーやインフルエンサー等）
- ・未来の予想動画の視聴
- ・ITの進化による生活の変化。
- ・世界における日本のIT環境ランク
- ・効率化や省力化を図るには？ホテル業界等のシステム改善事例を通して思考の多様性を学ぶ

（参加者の声）

- ・講師がお話し上手でおもしろくためになりました。
- ・すごくわかりやすかったです。
- ・初めて講座を受けましたが、とても有意義な時間でした。
- ・リアルな講座で（人間の考え等どうなるのか？）もう少し勉強します。
- ・休憩なしの講話でしたが、飽きることなく集中して聞け面白かった。
- ・今後の社会を考える上で参考になった。時間変更を当日知ったので変更等の通知は課題だと思う。
- ・講座はとても良かったのですが、時間を長くゆっくりと教えて頂けると更なる理解につながると思った。

（まとめ）

- ・ITによって様々な仕事の在り方が見直され、新しい働き方が生まれている現代、今後の社会を考えるうえでとても参考になった。
- ・受講生からも授業時間を増やし深く学びたいとの声をいただきこの講座のやりがいを感じた。
- ・若い世代の受講生には、新しい時代に求められる人材を目指すうえでの良い機会になったと思う。
- ・大森講師の講座内容や話し方がとてもわかりやすかったと受講者には好評であった。

[3] 親子ふれあい教室

親子星空教室

趣 旨：天体学習を通じて、豊かな情操と科学心を育てると共に、親子のコミュニケーションを深める
親子で宇宙や星座の学習をすることにより、子供達の理科への感心を高める。

期 間：令和元年9月7日～令和2年2月8日（全6回）

時 間：18：30～20：30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム
ホール、第1学習室、新都心公園

対 象：市内小学校4～6年生の親子

受 講 料：無料（但し、写真代・材料費として500円自己負担あり）

定 員：親子20組

申込人数：親子19組

参加延べ人数：221人

講 師：垣花正男、田端研二 福里美奈子、玉城奈々

受け付け方法：8月13日～申込み先着順 電話か窓口にて受付

《学習プログラム》

	期 日	学習内容	参加人数
1回目	9月 7日（土）	開講式、望遠鏡の仕組みと使い方、天体観望会	40人
2回目	10月 5日（土）	天体観望会（新都心公園）、星座早見盤の使い方	35人
3回目	11月 2日（土）	宇宙と季節の星座について（プラネタリウム）	31人
4回目	12月 7日（土）	星座について学ぼう！	25人
5回目	1月11日（土）	楽しい工作！星座早見盤	50人
6回目	2月 8日（土）	閉講式、2020年天文現象解説（プラネタリウム）	40人

（受講生感想）

【親】・親子で星空を眺める機会が増えて良かったです。星にも少し詳しくなりました。

【子】・講座の話に興味を持って、家族で夜、百名ビーチへ満天の星空を眺めに行きました。その時カノープスらしいのが見えました。星座の名前や星の名前も覚えて楽しかったです。

・学校で習わない星座や星があることを知った。

（まとめ）

プラネタリウムで星座や宇宙について学び、新都心公園で天体観望会を開き惑星を観察した。また工作では、1等星21個の名前と位置を確認しながら手作り星座早見盤を作成した。講座のお陰で友達が増えたと言ってくれた生徒もいて、当講座以外の公民館主催のイベントにも参加してくれ、親子同士での交流にも繋がった。



5 家庭教育事業

[1] 家庭教育学級

宇宙の学校

趣 旨：JAXA宇宙教育センターのテキストを使い、宇宙や自然科学をテーマにした実験・工作・課題学習を行うことで、好奇心や冒険心を豊かに備えた元気で創造的な子どもを育てる。

期 間：令和元年6月30日～11月24日 全5回

時 間：10:00～12:00

場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館（ホール）

対 象：那覇市在住・在学の小学校1～3年生の児童と保護者

受 講 料：無料（但し、材料費、保険料等、1,500円自己負担）

定 員：60組決定

申 込 人 数：143組応募（往復はがきでの応募）

参加延べ人数：218組（632人 兄弟・姉妹含む）

講 師：稲葉 茂（KU-MA子ども・宇宙・未来の会副会長）
藤井 晴彦（沖縄自然環境ファンクラブ代表）
宇久 淳子（元社会教育指導員・JAXA 宇宙教育リーダー）
田端 研二（那覇市牧志駅前ほしぞら公民館館長）



《学習プログラム》

期 日	内 容	参加人数
6月30日（日）	開校式・風見鳥作成・かさ袋ロケットを作って飛ばそう	親子47組/184人
7月21日（日）	ホバークラフトを作ろう	親子50組/130人
9月 8日（日）	プロジェクトWET（水に関する教育プログラム）	親子48組/125人
10月20日（日）	ポンポン船を作ろう	親子39組/103人
11月24日（日）	宇宙についての講話・熱気球を飛ばそう 家庭学習レポート発表会・閉校式	親子34組/90人

（参加者の声）

児童

- ・みんなで熱気球を作って飛ばしたことが楽しかった。
- ・うまく発表する事が難しかった。

保護者

- ・本人だけでなく、弟妹も一緒になって科学に興味を持てて良かったです。
- ・とても楽しく童心に戻って真剣に参加出来ました。

（まとめ）

- ・「親が教師」という趣旨を理解してもらったようで、親も積極的に関わり、親子で考え工夫している姿が毎回見られ、家庭で取り組む課題のレポートも充実していた。



[2] 乳幼児学級

にゅうじらんど

趣 旨：生後6ヶ月から1歳までの第1子を持つ親を対象に、初めての育児での悩みや産後の体の変化を同世代と話すことで不安を解消し、コミュニケーションを図ることで仲間づくりを目指す。

期 日：令和元年10月2日（水）～10月26日（土）（全5回）

時 間：10：00～12：00

場 所：那覇市牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：6ヶ月から1歳までの第1子を持つ那覇市内の母と子

受 講 料：無料（但し、保険料と材料費1,000円自己負担あり）

定 員：16組

申 込 人 数：15組（うち受講決定人数22人）

参加延べ人数：132人

講 師：下記参照



《学習プログラム》

回	期 日	学 習 内 容	講 師	人数
1	10月 2日（水）	那覇市の子育て支援って？教えて・ 専門家が薦める絵本の選び方	那覇市子どもみらい課 大山真紀	23人
2	10月 9日（水）	簡単取り分け離乳食&おやつ作り	那覇市社会教育指導員OB会	29人
3	10月16日（水）	心も体もリラックス コミュニケーションヨガ	色彩コミュニケーション「色ひろば」 古堅裕子 仲宗根純子	27人
4	10月23日（水）	からだの悩み、心の悩みを専門家 に聞いてみよう！きらきら座談会	助産院*きらきら助産師 百名奈保	25人
5	10月26日（土）	修了式&パパとママと一緒に プラネタリウムデビュー	プラネタリウム操作技師 福里美奈子	28人

（参加者の声）

- ・ 親の食する料理をそのまま子どもに・・・という点で、手間が省けていいなと参考になりました。また、ママさん方と共に交流しながらのCookingはとても楽しく勉強になりました。
- ・ ヨガではとてもリラックスができ、こった筋肉をほぐすことができました。色彩についての知識はまったく無かったので、色の持つエネルギーが知れてよかったです。
- ・ 質問シートに書いた事すべて回答が頂け、資料もいろいろ用意して頂いたのもとても良かったです。ネットなどでいろいろな情報をしっていたつもりですが初めて知ることも多くとても勉強になりました。
- ・ プラネタリウムに来るのは初めてでしたのでいい機会になりました。4ヶ月の子には早かったようで泣いていました。また、大きくなったら来ようと思います。素敵な修了書とメダルまで頂けてとても思い出に残る講座になりました。

（まとめ）

- ・ 講座を通してママ同士でコミュニケーションを図り仲間作りができたようでした。最終日は赤ちゃんや家族と一緒にこれまでの成果をパワーポイントで振り返りました。初めてのプラネタリウムでは泣いている子もいましたが、（皆さん）広がる星空や映像をリラックスしながら観覧して、とても有意義な講座になりました。

6 その他の事業

〔1〕 プラネタリウム事業

久茂地公民館の前身である沖縄少年会館から引き継いだプラネタリウムは、45年間もの間、青少年に科学の夢を与え続けてきた。しかし建物の老朽化により牧志駅前ほしぞら公民館に機能移転し、プラネタリウムも最新型のハイブリッド式へと生まれ変わった。

新機種の導入により、地球上での星空だけでなく、地球を飛び出し宇宙空間を移動することも可能で、過去や未来の星空など、時間軸の移動も容易となった。また、各地の風景を投影するなど、より臨場感あふれる演出となり、幼児から大人までを対象に、宇宙への好奇心を育ててもらう役割を引き継いでいる。

平成25年度より、一括交付金を活用して製作したオリジナル番組を投影している。

- 【観覧料】 (一般料金) 大人200円、高校生150円、小中学生100円
(団体料金) 大人150円、高校生120円、小中学生 80円
※那覇市内小中学生無料、未就学児全般無料、那覇市内65歳以上は100円
- 【所要時間】 約45分～50分 (幼児番組は約40分) (学習投影は内容により1時間30分まで可能)
- 【定員】 1回の投影で84名まで。
- 【休演日】 月・火曜日、祝祭日・年末年始・慰霊の日(6/23)・機械点検日、番組調整・講座等使用日
- 【受付】 ≪一般投影≫ 観覧当日、投影1時間前に観覧料を購入
≪団体投影≫ 10名以上の団体で、観覧一週間以上前に申請し許可を受ける。
市内所在団体は4月から、市外所在団体は5月から受付開始。

【プラネタリウム投影の内容】 ※①～⑥と、10分～25分程季節の星空解説を合わせて行う。

- ①幼児対象番組 「月にはだれがすんでいるの?」「かめっちとぺんた」
「おーい!アカナー!夜空を見上げよう」
- ②高学年対象番組 「宇宙船さいおん号で出発」「GO!メガシーサー!宇宙への夢、無限大」
「宇宙と島の大冒険 GO!メガシーサー!」
- ③一般向け対象番組 「美ら島・星の旅」「月と星・島々の歳時記」「チムグクルをとりもどせ!」
「みんな生きている。宇宙・星・島々…」
- ④うちなーぐち番組 「美ら島・星の旅」「残したい言葉・伝えたい想い」
- ⑤小・中・高校生対象の学習投影 「学習番組」「時空を超えて～夜空の見方を大転換～(夏)、(冬)」
- ⑥宇宙の最新情報、天文現象の解説

☆通常期(繁忙期以外)

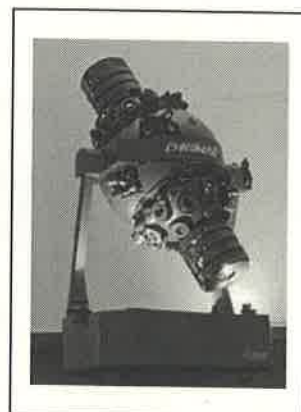
	10:00	14:00	18:30
水	団体	団体	
木	団体	団体	
金	団体	団体	一般

	13:30	15:00	17:00
土	一般	一般	一般
日	一般	一般	

☆繁忙期(7・8月、小学校の秋・冬・春休みの期間)

	10:00	11:00	14:00	15:30	18:30
水	団体	団体	団体	一般	
木	団体	団体	団体	一般	
金	団体	団体	団体	一般	一般

	11:00	13:30	15:00	17:00
土	団体	一般	一般	一般
日		一般	一般	一般



星空観望会

趣 旨：宇宙や自然科学への関心を高め、市民の知的好奇心に応える。
 内 容：天体望遠鏡を使い、惑星や月を観察。四季それぞれの星座は肉眼で観察。
 期 間：令和元年4月12日～令和2年1月24日（全12回）19：30～21：00
 場 所：ほしぞら公民館、小学校運動場、保育園広場
 対 象：公民館来館者、小学生・保育園児と保護者
 参 加 料：無料
 定 員：なし
 参加延べ人数：665人
 講 師：田端研二、福里美奈子、玉城奈々、星空（準）案内人

《学習プログラム》

期 日	観望会名	内 容	場 所	参加人数
4/12	市民観望会	月・シリウス・リゲル	公民館外廊下	13人
7/12	保育園観望会	月・木星・アンタレス	マリア保育園	15人
7/26 8/23	夏の天体観察会	木星・土星	公民館外廊下	約150人
9/13	市民観望会	木星・月	公民館外廊下	約70人
10/25	市民観望会	土星	公民館外廊下	約20人
11/1	市民観望会	土星	公民館外廊下	4人
11/9	小学校観望会	土星・月	安謝小学校	約150人
11/15	市民観望会	土星	公民館外廊下	約60人
12/27	部分日食観望会	太陽	公民館外廊下	約150人
1/10	市民観望会	金星	公民館外廊下	3人
1/24	市民観望会	金星	公民館外廊下	30人

（まとめ）

今年は天候不良のために夏休みのベランダ観望会の数回とたなばた観望会が中止となったが、参加人数は少なかったものの、天気の良い日には、その日みられる天体の観望会を開催した。

12月の部分日食観望会は注目の天文現象として、人々の関心も高く多くの市民が参加した。当日に間に合わせて星空（準）案内人の皆さんが作った日食メガネが予定以上の配布となり、足りなくなるほどだった。初めて日食を見る児童も多く、天文に興味を持つきっかけになってくれたと思う。



星と音楽のコラボ（夏） コンポステーラ 星降る野原ギターの調べ

趣 旨：季節に合った音楽を聴きながら満天の星を楽しんでもうらう。
コンサートやライブではなく星空とのコラボレーション投影を行うことでプラネタリウムに親しむ機会とする。

期 日：令和元年6月1日（土）

時 間：（第一部）16：00～16：50（第二部）17：30～18：20

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：星と音楽が好きな小学生以上

観 覧 料：無料

定 員：130人（65人×2回）

申込人数：114組218人（内受講決定人数82組158人）

演奏者名：ノエル・ビリングスリー（クラシックギター）

参加延べ人数：151人



《投影プログラム》

回	時間	人数	内容	演奏者
第一部	16：00～16：50	79人	クラシックギターの演奏を聴きながらスペインの風景や星空を投影。星座にかかわるギリシャ神話・スペインの歴史の解説	ノエル・ビリングスリー（ギター）
第二部	17：30～18：20	72人		

（参加者の声）

- ・こんな素晴らしい所を知らずにいました。素敵なアーティストでした。
- ・プラネタリウムも音楽も親子ともに楽しむことができました。ギターの音色がきれいでとても1本のギターで弾いているとは思えませんでした。
- ・忙しい毎日を送る中、ほっと一息、肩の力を抜く時間を持つことができました。ぬちぐすいできてとても光栄です。
- ・プラネタリウムとのコラボも良かったが、演奏は何度でも聴きたいと思うほどうっとりした。

（まとめ）

クラシックギター1本のみでの演奏にもかかわらず、日本ギターコンクール優勝者による美しい音色と豊かな表現で素晴らしいコラボとなった。譜面台にライトをつけても星空を明るくしないように準備するのは大変だが、「譜面台を使わなくてもよい」とのことです。プラネタリウム本来の星の美しさを投影することができた。とても協力的な演奏者のおかげでストレスなく気持ちよくイベントを行うことができた。



七夕無料投影

趣 旨：毎年、多くの方が星空を見上げる七夕の時期に、多くの市民に星空や宇宙に興味を持ち、プラネタリウムに親しむ機会とする。

期 間：令和元年7月6日(土)～7日(日)

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：公民館来館者

観 覧 料：無料

定 員：各回80人

参加延べ人数：649人

受付方法：入場整理券はすべての回を13時にプラネタリウムドーム前で配布。

より多くの方々に観覧して頂く為に、整理券は一度に1回分、1人2枚までとした。

7月6日(土)

《投影プログラム》

回	時 間	投 影 内 容	人 数
1	12:40	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	54人
2	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	84人
3	15:00	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	84人
4	16:00	幼児・小学校低学年向け 「おーいアカナー！夜空を見上げよう」	62人
5	17:00	小学校高学年～大人向け 「宇宙と島の大冒険」	55人

7月7日(日)

《投影プログラム》

回	時 間	投 影 内 容	人 数
1	12:40	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	52人
2	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	86人
3	15:00	幼児・小学校低学年向け 「おーいアカナー！夜空を見上げよう」	86人
4	17:00	小学校高学年～大人向け 「宇宙と島の大冒険」	86人

(まとめ)

早い時間から多くの方が並んでいたため、今年も前倒しで12:40の回を増やしたことと、開場も数分程度早めに案内することで投影もすんなりと進んだ。ロビーに七夕の歌を流すと子どもたちが合唱してくれた。投影でも七夕の歌をみんなで歌ったり物語をパワーポイントで見てもらったりとそれぞれ工夫して、子供たちに喜んでもらえたと思う。残念ながら天候不良のためにたなばた観望会は中止となった。



星と音楽のコラボ（冬）「天空からの贈り物」

趣 旨：1年の締めくくりに、季節に合った音楽を聴きながら満天の星を楽しんでもらう。コンサートやライブではなく星空とのコラボレーション投影を行うことで、プラネタリウムに親しむ機会とする。

期 日：令和元年12月14日（土）

時 間：（第一部）16:00～16:50（第二部）17:30～18:20

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：星と音楽が好きな小学生以上

観 覧 料：無料

定 員：130人（65人×2回）

申込人数：99組188人（うち受講決定人数77組136人）

参加延べ人数：128人

演奏者：ソプラノ歌手 宮平真紀子、ハープ奏者・メゾソプラノ歌手 樋渡かおり

《投影プログラム》

回	時間	人数	内容	演奏者
1 部	16:00～16:50	68	プラネタリウムの星や映像を眺めながら、声楽とグランドハープを生演奏で味わう。	ソプラノ歌手：宮平真紀子 ハープ奏者・メゾソプラノ歌手：
2 部	17:30～18:20	68		樋渡かおり

（参加者の声）

- ・初めて声楽を生で聞きましたが、声量はもちろん、音域の幅広さに驚きました。
- ・ハープの生演奏を初めて聞いた。プラネタリウムと歌とのコラボがとても良かったです。
- ・星を見ながら音楽を聴くのが素晴らしい。

（まとめ）

今回初めて声楽とグランドハープとのコラボに挑戦した。声楽の声の響きが心配だったが、歌手の方の声量が大きくてマイクが不要な程ドームに響き渡り、来場者を驚かせた。グランドハープは弦に音階を見分ける色がついており、暗闇の中で見えるようにライトの工夫に時間を費やした。演奏終盤では、歌手の方がドームの中を歩きながら歌ってくれ、「こんなに間近で迫力のある歌声を聞けて感動した」、「初めてグランドハープの生演奏を聴けて癒された」と、来場者からお礼の言葉を頂いた。



日本の星の名前・歌・物語～北海道から沖縄まで～

趣 旨：「日本の星名事典」の著者で日本の星の文化研究の第一人者である北尾浩一氏を招き、北尾氏が全国を周り聞き取りした星の名前、歌、物語などについてプラネタリウムの満天の星のもとで解説してもらい、参加者に沖縄や日本の星について興味を持ってもらう。

期 日：令和元年10月19日（土）

時 間：15:00～17:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：80人

申 込 人 数：84人（うち受講決定人数80人）

参加延べ人数：67人

講 師：北尾 浩一（大阪科学振興協会中之島科学研究所研究員）

講 座 内 容：日本の星の名前・歌・物語を聞き取り調査にもとづき、プラネタリウムで星空を投影しながら紹介する。

（参加者の声）

- ・北尾さんの声が心地よくとてもよかったです。すごく貴重な時間でした。
- ・子育てに追われて星を見ることから遠ざかっていました。たっぷり投影を楽しませてもらいました。
- ・わかりやすく話してくれてとても良かったです。今回はとても勉強になりました。
- ・歌のニヌファブシくらいしか知らなかったの、日本内でも昔の呼び名にいろいろあったことをはじめて知りました。

（まとめ）

- ・実際に星の聞き取り調査をしている北尾氏の話、沖縄の星に興味を持っている方々に聞いてもらうことができて良かったと思う。大人だけではなく小中学生の参加もあったが、わかりやすく楽しめたというアンケート結果だった。
- ・今後は当館プラネタリウムでも沖縄の星にまつわる聞き取りとデータ収集を行っていく必要があると感じた。



ブラック星博士沖縄遠征プラレアリウムお礼スペシャル 皆既日食の話もあるよ

趣 旨：明石市立天文科学館館長の井上毅氏を迎え、熟練された解説を楽しんでもらう。
また、笑いでいっぱいプラネタリウム解説でいつもとは一味違った投影を楽しんでもらい
今後の来館のきっかけとしたい。

期 日：令和2年2月11日（火）
時 間：（第一部）13：00～14：00（第二部）15：00～16：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：130人（65人×2回）

申込人数：160人（うち受講決定人数148人）

講 師：井上 毅（明石市立天文科学館館長）

参加延べ人数：143人

《学習プログラム》

回	時間	人数	内容	講師
第一部	13：00～14：00	68人	前半に井上館長が実際に海外で 観察した皆既日食の映像投影や 星空解説を行い、後半にブラッ ク星博士が登場してギャグを交 えた解説やクイズを行う。	明石市立天文科学館 館長 井上毅
第二部	15：00～16：00	75人		

（参加者の声）

- ・初めての体験でした。とてもおもしろく感動しました。日食映像も最高でした。
- ・内容も楽しかったし、日食の映像が素敵でした！ブラック星博士に会えてうれしかったです。
- ・大人になっても好奇心があふれる大人の姿が子どもたちに希望を与えてくれた気がします。
- ・なかなか明石まで行けないので良かったです。企画ありがとうございました。

（まとめ）

- ・井上館長・ブラック星博士は全国的にも人気が高く、なんとかスケジュールを調整してもらい今回の投影を実現することができた。お笑いプラネタリウム・日食の映像ともに素晴らしく子どもから大人までいろんな年齢層の方にも楽しんでもらえたと思う。
- ・全国からプラネタリウムファンの方が20人ほど集まった。その方々が記念にお金を出し合って缶バッジを作成し参加者に配布してくれた。今後とも、沖縄はもとより全国から愛される投影館となりたい。



7 公民館まつり

公民館まつり風景

☆ 作品展示の部 ☆



☆ 舞台の部 ☆



☆ 体験コーナー ☆



☆ まつりボランティア ☆



☆ プラネタリウム ☆





那覇市牧志駅前

ほしぞら公民館まつり

2020年2月3日～29日



3日(月)～9日(日)

9時～21時(最終日は15時まで)

サークル合同作品展

写真・書道展



【出展団体】碧サークル／グルッペ・モノクロ／月書会
／全日本写真連盟沖縄支部／筍サークル／ふみづき
書道／百の会(実用かなサークル)／ゆうなの会

場所:ロビー、エスカレーターフロア

10日(月)～16日(日)

9時～21時(最終日は15時まで)

サークル合同作品展

作品展



【出展団体】押し花サークル トコフルール／折り紙サ
ークル 折りづる／サークル・アートセッション／草月ク
ラブ／パッチワークサークル バンビ／ほしぞらパソコ
ンサークル／水色の会／洋裁サークル フレンド／おれ
ずみ旬会

場所:ロビー、エスカレーターフロア

15日(土)16日(日) 12時～17時

舞台発表

場所:ホール

詳細は別紙プログラムをご覧ください

15日(土)16日(日)

特別無料投影プラネタリウム

詳細は別紙プログラムをご覧ください

15日(土)16日(日)

体験コーナー



15日(土)

13時～15時 指文字・手話体験

場所:パソコン室 (はと手話の会)

13時～17時 囲碁体験

場所:実習室 (なは一基会)

16日(日)

10時～12時 折り紙体験

場所:パソコン室

(折り紙サークル 折りづる)



10時～12時 食育体験

場所:実習室

(しまな一会)

13時～16時 パソコンでお絵かき

場所:実習室

(あした葉会)

16日(日) 11時～11時30分

図書館よみきかせ

★キラキラおはなし会★

場所:図書館おはなしのへや



15日(土) 11時30分～15時

バザー

(母子寡婦福祉会本庁支部)

場所:ホール前

29日(土) 18時～

社交ダンスパーティー



場所:ホール

主催:牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会

お問合せ:那覇市牧志駅前ほしぞら公民館 TEL917-3443

プラネタリウム無料投影

趣 旨：公民館まつり開催に合わせ、多くの方々にプラネタリウムに親しむきっかけとなってもらおう。

期 間：令和2年2月15日（土）～2月16日（日）

時 間：13：30、15：00、17：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

対 象：公民館来館者

観 覧 料：無料

定 員：各回80人

申 込 人 数：0人（うち受講決定人数248人）

参加延べ人数：248人（15日106人 16日142人）

2月15日（土）

《投影プログラム》

回	時 間	内 容	参加人数
1	13：30～14：05	幼児向け ほしぞらあそび♪「浦島太郎の星」約35分 オール生解説	29人
2	15：00～15：45	幼児向け 「おーいアカナー！夜空をみあげよう！」約45分 生解説20分含む	33人
3	17：00～17：45	小学校高学年～大人向け 「チムグクルをとりもどせ」約45分 生解説20分含む	44人

2月16日（日）

《投影プログラム》

回	時 間	内 容	参加人数
1	13：30～14：05	幼児向け ほしぞらあそび♪「浦島太郎の星」約35分 オール生解説	51人
2	15：00～15：45	幼児向け 「おーいアカナー！夜空をみあげよう！」約45分 生解説20分含む	28人
3	17：00～17：45	小学校高学年～大人向け 「チムグクルをとりもどせ」約45分 生解説20分含む	63人

（まとめ）

13時30分の投影は毎年すぐに満席になるが、今年は新型コロナウイルスの影響で満席とならなかった。プラネタリウム前に消毒剤を設置し、拡散予防の対策をした。15時の投影はこれまで小学校高学年から大人向けの番組だったが、幼児向けの番組に変えた事で小さなお子様も最後まで飽きずに楽しんでくれたようで良かった。また、16日の17時の投影は、ホールに出演されたサークルさんがたくさん見に来てくれ、最も多い観覧者数になった。

